

長野県とその周辺の地震活動

(令和5年8月)

令和5年9月25日
長野地方気象台

【地震活動概況】

1. 長野県およびその周辺

8月に、県内の震度観測点で震度1以上を観測した地震は2回（7月:12回）でした。8月の県内における最大震度は、12日の愛知県西部の地震により、根羽村と売木村で観測された震度2でした。詳細は「表1 8月に県内で震度1以上を観測した地震」を参照してください。

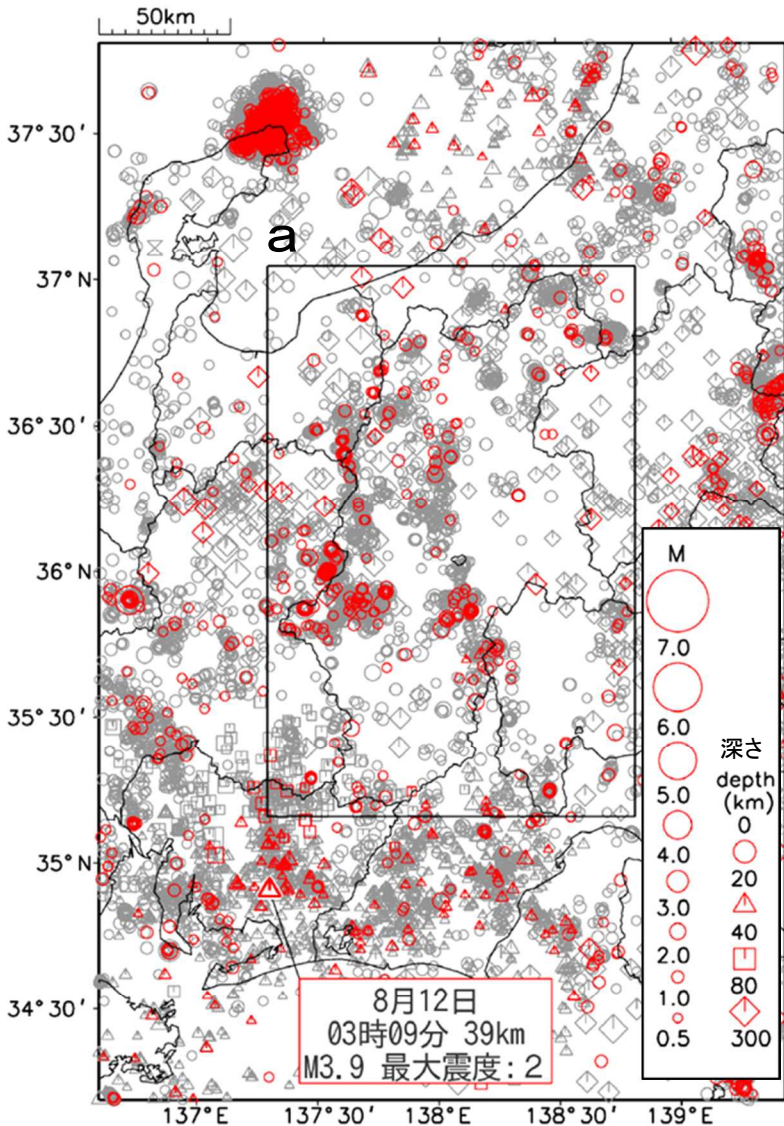


図1 左上段：震央分布図

(2022年9月1日~2023年8月31日、
深さ0~300 km、M \geq 0.5)

丸の大きさはマグニチュードの大きさを、形は深さを表しています。2023年8月の地震は赤色で示しています。

図2 左下段：震央分布図の断面図（東西方向）

丸の大きさはマグニチュードの大きさを、縦軸は深さを表しています。2023年8月の地震は赤色で示しています。

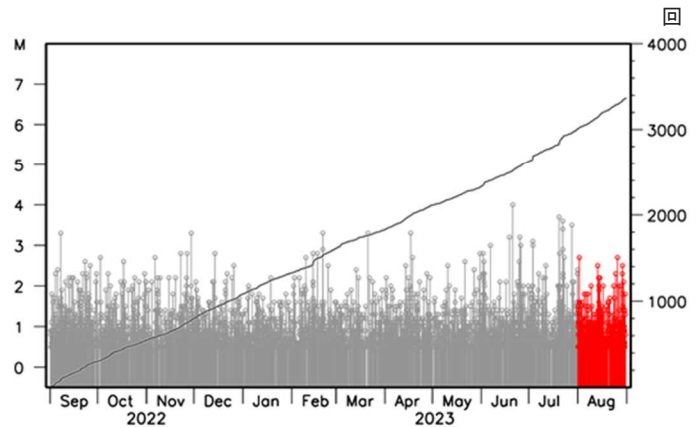
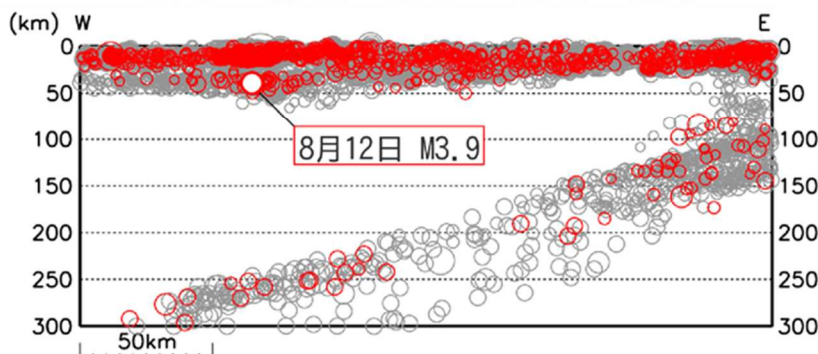


図3 図1領域a内の陸域の浅い地震（深さ30 km以浅）の地震活動経過・回数積算図

地震発生日時と、マグニチュードの大きさを丸の付いた縦棒で表しています。横軸は年月で、マグニチュードの目盛を左側に示します。2023年8月の地震は赤色で示しています。折れ線グラフは地震の積算回数を表し、目盛を右側に示します。

2. 糸魚川-静岡構造線断層帯（北部・中北部・中南部）付近の地震活動

この1年間の糸魚川-静岡構造線断層帯（北部・中北部・中南部）付近の地震の発生状況は下図のとおりです。8月に、特に目立つ活動はありませんでした。

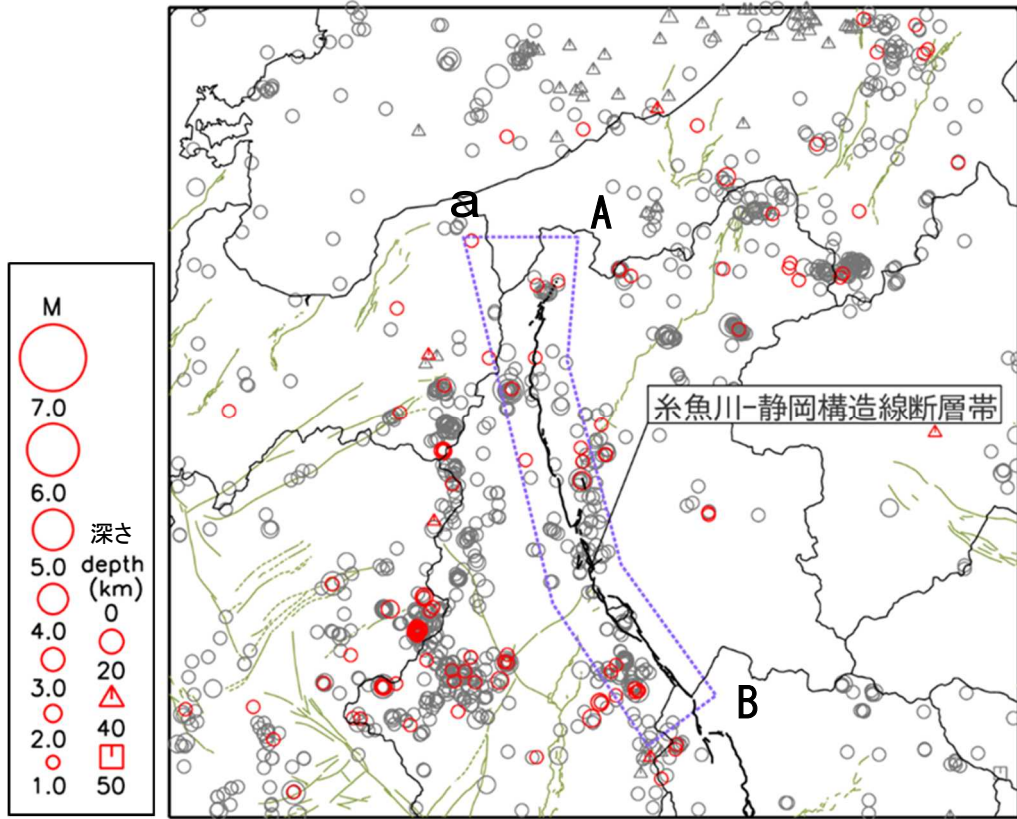


図4 震央分布図

(2022年9月1日～2023年8月31日、深さ0～50 km、M≥1.0)

丸の大きさはマグニチュードの大きさを、形は深さを表しています。2023年8月の地震は赤く表示しています。糸魚川-静岡構造線断層帯以外の地震調査研究推進本部の長期評価による活断層は、薄い緑色で表示しています。

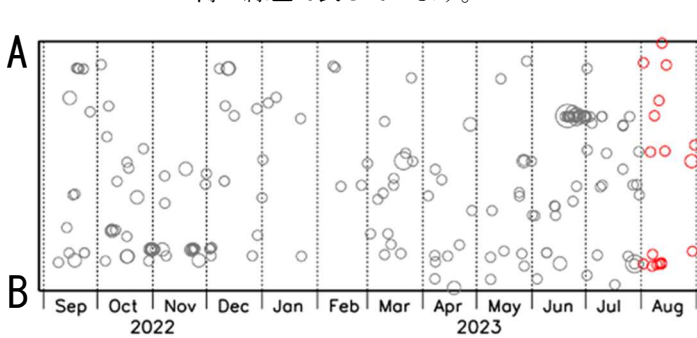


図5 図4の領域a内の時空間分布図
(A-B投影)

丸の大きさはマグニチュードの大きさを表しています。縦軸は図4のA-Bの投影で横軸は年月です。2023年8月の地震は赤色で示しています。

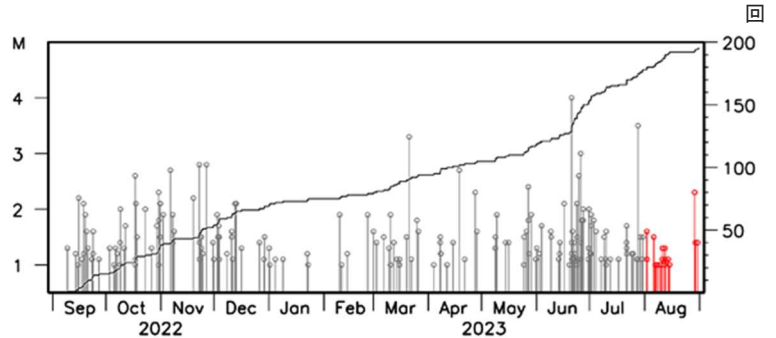


図6 図4の領域a内の地震活動経過・回数積算図

地震発生日時と、マグニチュードの大きさを丸の付いた縦棒で表しています。横軸は年月で、マグニチュードの目盛を左側に示します。2023年8月の地震は赤色で示しています。折れ線グラフは地震の積算回数を表し、目盛を右側に示します。

政府の地震調査研究推進本部は、活断層ごとに30年以内に大きな地震が起きる確率を4段階※で評価し、糸魚川-静岡構造線断層帯（北部・中北部・中南部）は、最も発生確率が高い「Sランク」と評価されています（2023. 1. 1現在）。

※ 4段階評価 3%以上 Sランク（高い）、0.1～3% Aランク（やや高い）、Zランク（0.1%未満）、Xランク地震発生確率が不明（すぐに地震が起こることが否定できない）

表1 8月に県内で震度1以上を観測した地震

地震No.	年月日	時分	震央地名	緯度	経度	深さ	M
1	2023年08月12日	03時09分	愛知県西部	34° 54.8' N	137° 17.6' E	39km	M3.9
	長野県 震度 2：根羽村役場＊, 売木村役場＊ 震度 1：飯田市高羽町, 飯田市上郷黒田＊, 長野高森町下市田＊, 阿智村浪合＊ 平谷村役場＊, 下條村睦沢＊, 天龍村清水＊, 天龍村平岡＊, 泰阜村役場＊						
2	2023年08月19日	14時07分	福井県嶺北	35° 54.2' N	136° 41.6' E	10km	M4.3
	長野県 震度 1：根羽村役場＊, 売木村役場＊						

各地の震度は、気象庁ホームページの「震度データベース検索」でも検索することができます。

<https://www.data.jma.go.jp/svd/eqdb/data/shindo/index.php>

3. 長野県外を震源とする主な地震

令和5年8月12日 愛知県西部の地震

12日03時09分 愛知県西部の地震（深さ39km、M3.9）により、東海地方と長野県で震度2から震度1を観測しました。長野県内では根羽村、売木村で震度2を観測したほか、飯田市、高森町、阿智村、平谷村、下條村、天龍村、泰阜村で震度1を観測しました。

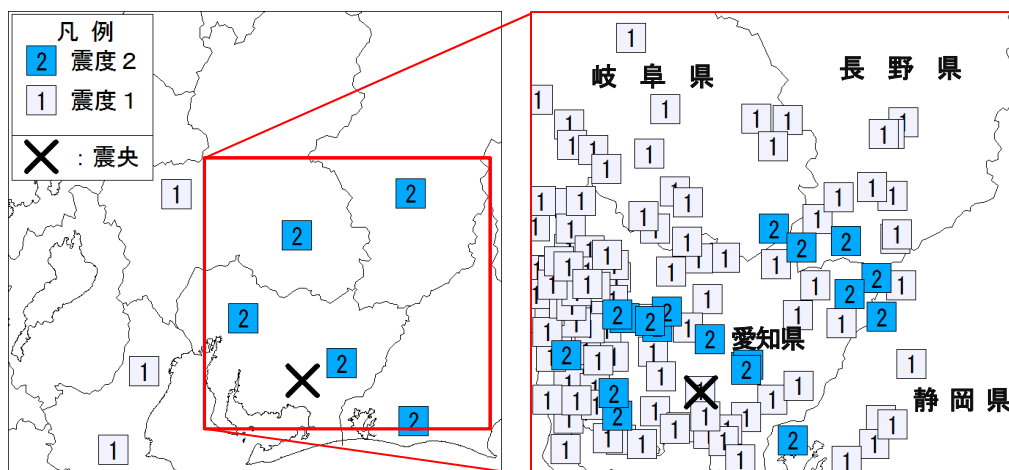


図7 8月12日 愛知県西部の地震の震度分布図（左：地域別、右：地点別）

【南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会および地震防災対策強化地域判定会】

評価検討会および判定会は令和5年9月7日に行われています。現在のところ、南海トラフ沿いの大規模地震の発生の可能性が平常時と比べて相対的に高まったと考えられる特段の変化は観測されていません。

・詳細はこちらから <https://www.data.jma.go.jp/svd/eew/data/nteq/index.html>

南海トラフ沿いの大規模地震（M8～M9クラス）は、「平常時」においても今後30年以内に発生する確率が70～80%であり、昭和東南海地震・昭和南海地震の発生から約80年が経過していることから切迫性の高い状態です。

お知らせ



11.5 津波防災の日

11月2日(木)は 緊急地震速報の訓練に 参加しましょう!

緊急地震速報を見聞きしたときに、慌てずに
身を守る行動ができるようにしましょう

・令和5年11月2日(木) 10時00分頃に、訓練に参加する地方自治体の防災行政無線や、一部商業施設などで緊急地震速報の放送があります。

※訓練の緊急地震速報は、テレビ・ラジオの放送や、携帯電話・スマートフォンの緊急速報メール(エリアメール)には流れません。(一部のコミュニティFM等を除く)

・普段から、家具の固定など地震への備えをすすめ、津波避難場所なども確認しておきましょう!

訓練の詳細内容、参加機関等は、気象庁 緊急地震速報訓練の特設ページをご覧ください。
<https://www.data.jma.go.jp/svd/eew/data/nc/kunren/2023/02/kunren.html>

本資料中、マグニチュードをMと略記しています。

本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点(河原、熊野座)、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点(よしが浦温泉、飯田小学校)、米国大学間地震学研究連合(IRIS)の観測点(台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東)のデータを用いて作成しています。

本資料は速報資料です。後日内容を変更する場合があります。

「長野県とその周辺の地震活動」は、長野地方気象台ホームページに掲載しています。

長野地方気象台 <https://www.data.jma.go.jp/nagano/>

問い合わせ先：長野地方気象台 地震担当 (026-232-3773)